

もっと知りたい！現在・未来の暮らしと生活の情報誌



総務省



2025 年 1 月号

Vol.289

C O N T E N T S

地方のかがやき

P.6

山梨県 甲府市

P.10

私たちの貴重な文化財を火災から守りましょう
1月26日は文化財防火デーです

P.11

郵政民営化前にお預けいただいた
定額郵便貯金、定期郵便貯金、積立郵便貯金は
お早めに払戻しの手続きをお願いします！

P.12

令和7年1月14日(火)リニューアル開講
「誰でも使える統計オープンデータ」
受講者募集中

P.13

第二次石破内閣・総務省の新体制

P.14

地域 DX のヒント
鹿児島県指宿市
ぴったりサービスの活用でコスト削減！

P.2 特集

ふるさと ワーキングホリデー

表紙の写真：舞鶴城公園からの初日の出（甲府市）

さあ、今こそ動き出せ——
第2のふるさと探しの旅へ

ふるさとワーキングホリデー

また、休日には、地域住民との交流イベントや、歴史・文化や産業等を学ぶツアーへの参加などにより、地域のことをより深く知ることができます。

今年度も、各地方公共団体において、ふるさとワーキングホリデーを実施しています。参加することで新たな出会いや、思ってもみなかった貴重な経験ができるかもしれません。ポータルサイトや合同説明会でふるさとワーキングホリデーへの理解を深めていただき、ぜひご参加ください。



ポータルサイト、 SNS で情報を集めよう!

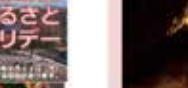
また、各種SNSにおいてもリアルタイムで情報を発信しておりますので、フォローして情報をお待ちください。



【宮城県気仙沼市】人と出会い、自分と向き合う、ワーホリ #過年募集・ターム制



【長野県伊那市】南アルプスと中央アルプ스에囲まれた標高632mのりんご園で、伊那のお仕事と暮らしを体験してみませんか？



【岩手県北田町】いざ、神秘の地底へ！ 潜り着！鍾乳洞に関わる施設のお仕事

業務内容 面接後調整・決定

所在地 宮城県気仙沼市

実施時期 2024年6月26日～2024年12月31日

滞在期間 18泊12日

業務内容 りんごの収穫、農地整備等

所在地 長野県伊那市ますみヶ丘

実施時期 2024年10月15日～2024年12月27日

滞在期間 2週間～1ヵ月

業務内容 湯岡洞窟観光センターにて、入洞許可をはじめ、観光センター内の営業付等 ★タイミングが合えば、観光ガイドのお手伝いもいただきます！

所在地 岩手県北田町北田町上住士

実施時期 2024年10月1日～2024年12月15日

滞在期間 2～3泊程度



合同説明会に参加してみよう!



開催日程等はポータルサイト、SNS等でお知らせしておりますので、是非ご参加ください。

**オンライン説明会
アーカイブはこちら!**



地域の暮らしを体験してみませんか

～参加事例～

新潟県 南魚沼市 参加実績：60 名

【就労内容】

- 農業：しいたけ、スイカの収穫、コシヒカリの生育管理
- 観光業：グランピング、スキー場、レストランの運営補助
- 宿泊業：キャンプ場施設スタッフ、旅館スタッフ等

【地域との関わり】

- 地元中高生との対話型イベントに参加
- 商店街イベントへの参加、広報冊子の編集を通じた取材



体験者の声

田中晴樹さん 2022 年 8 月 新潟県南魚沼市参加

就労と休日を過ごすことで地域の生活を知ることはもちろんのことですが、同じ参加者との共同生活や一緒に過ごす休日の中で、同年代の参加者同士での対話から新しい一面を知る機会になりました。また、就労したグランピング施設では、親切に接客や案内、準備など1から教えてくださり積極的に実践する機会をつくっていただき、“体験”から1歩先の経験から成長を実感することができました。



徳島県 徳島市 参加実績：20 名

【就労内容】

- 農業、まちづくり事業・観光業・サービス業
- 宿泊業、教育事業

地域活性化に携わる事業者や地域に根ざした事業者の元で就労しながら徳島の暮らしを体験。

【地域との関わり】

- 地域イベントへの参加
- 地域の異業種交流会、地元若手事業者への参加
- 参加者と地元学生との交流等



体験者の声

玉井日向子さん 2023 年 9 月 徳島県徳島市参加

ワーキングでは、藍染め製品の染色を行いました。一つ一つ丁寧に模様をつけて藍の中に沈めていく作業は、集中力も忍耐力も必要で大変でした。ですが、染め終わりにひとつとして同じものはない藍染めの味わい深さを感じたとき、とてもやりがいを感じました。ホリデーでは、阿波踊りを教えてもらったり、眉山やひょうたん島クルーズなど、徳島市内の観光名所を巡ることができました。非日常的な就労体験を通して、もっと新しいことに挑戦してみようと思うようになりました。とても充実した期間でした。



樋口幸平さんによる体験レポート公開中!



注目の人気若手俳優・樋口幸平さんが「ふるさとワーホリ」を体験したレポート記事を公開しています。

樋口さんが訪れたのは「宮城県石巻市」。地域の仕事をしながら、地域の人たちと交流し、さらには余暇を利用した大自然のアクティビティなど、「ふるさとワーホリ」を体験した樋口さんの普段とは異なる新たな一面も必見です。

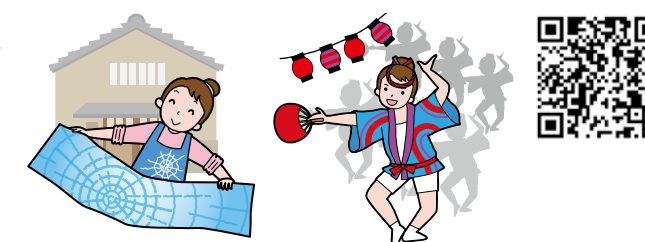


ふるさとワーホリのラジオドラマ公開中!

本ラジオドラマは、文化放送『レコメン!』とのタイアップ企画として、2024年8月22日～9月12日の期間、ラジオ番組『吉田仁人のレコメン!』内にて放送されました。主人公・あかり役は、人気アニメ『推しの子』アイ役をはじめ、数々の作品で活躍している声優 高橋李依さんが務めています。

大学の夏休み、徳島県徳島市で「ふるさとワーキングホリデー」を体験する主人公・あかり。声優 高橋李依さんの名演により、「ふるさと」の情景や、人と人との触れ合いの喜びが自然と目に浮かぶ心温まる物語です。

「ふるさとワーキングホリデー」の参加対象者である学生や社会人の方をはじめ、受け入れ側となる地方自治体の方にもお楽しみいただきたい作品です。



箭内夢菜さんによる YouTube 企画公開中!



『世界の果てまでイッテQ』等のバラエティー、ドラマでご活躍中の箭内夢菜さんが参加した「ふるさとワーホリ」は、茨城県を中心に位置する9つの市町村が連携して受け入れているプログラムで、危険木の討伐やチェーンソーや工作機を使った木材の加工、収穫した栗の販売用商品の仕分け作業などに参加しました。

学生時代から得意だったという技能系の作業に、終始没頭している様子の箭内さん。屋外の自然の中の作業には「パワーをもらえる」とリラックスした表情も見せていました。

箭内さんの2日間の活動に密着した動画を、是非ご覧ください。





しあわせな暮らしを追求する「山の都」

甲府市

山梨県

Kofu-City



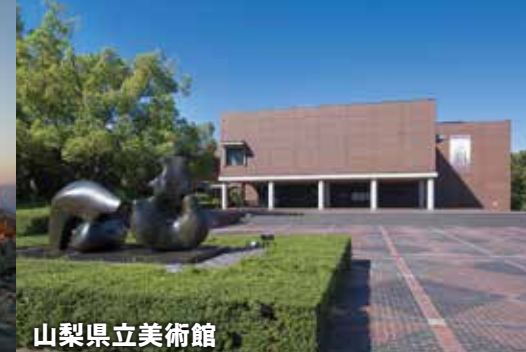
武田信玄

まちのシンボルでもある甲府駅前の武田信玄公像は台座を含め高さ6.2m（左）。躑躅が崎館跡に創建され、信玄をまつる武田神社（上）の宝物殿には往時を偲ばせる鎧・刀剣などを展示。神社南側には信玄ミュージアムも。



金峰山

標高2,599m。富士山を望む山頂付近の五丈岩（高さ約15mの巨大な花崗岩）は、金櫻神社の本宮とされる。日本百名山の1つ。



山梨県立美術館

収蔵品の総点数は約1万点。「種をまく人」など70点のジャン＝フランソワ・ミレーの作品を所蔵し、「ミレーの美術館」として知られる。



甲州夢小路

甲府城下町を再現したレトロな雰囲気の観光スポット。特産品を扱う店や飲食店、美術館がある。明治初期に取り壊された「時の鐘」も再現。

宝石やワインなどの名産、360度の山の景観が素晴らしい



ぶどう・ワイン

ぶどうは江戸時代からの特産品で、市内には多くの農園がある。明治時代に西洋種の導入やワインの醸造も行われるように。



御嶽昇仙峡

国の特別名勝に指定され、日本遺産にも認定されている。市の北部、荒川上流にあり、遊歩道から奇岩・滝など清流の渓谷美を鑑賞できる。



甲府城跡

甲府駅近くにある城跡。築城当時の石垣、復元された門や稲荷櫓がある。城跡の一部は舞鶴城公園として整備されている。



人生を
思いきり
楽しめるまち

甲府市長
樋口雄一

富士山や南アルプス、ハケ岳などの山々に囲まれた甲府市は、武田氏ゆかりの史跡や温泉が点在する「山のぼり・まち歩き」が楽しめるまちです。自然豊かな景勝地が近いほか、長い日照時間、季節や昼夜の寒暖差、きれいな水に恵まれているため、ぶどうや桃などの果物、朝採れ野菜が自慢で、ワインなどの酒類も逸品ぞろいです。より暮らしを楽しんでいただけるよう、公共空間を活用し、まちなかに居心地が良く、出かけた場を創出する政策を進めており、また「こども育むまち」を掲げ、子育て支援・子育て応援に取り組み、教育DXにも力を入れています。



武田二十四将騎馬行列

信玄の命日4月12日に開催。一般の参加者による武田二十四将騎馬行列や神輿などが武田神社を出発し、桜の見ごろを迎えた市内をパレード。



信玄の湯 湯村温泉

弘法大師が開湯し、信玄の隠し湯だったと語り継がれる名湯。太宰治や井伏鱒二、松本清張などの文人たちが訪れたことでも知られる。



こうふ PR 大使
武田ハルくん

Kofu-City

人口：183,949人
（令和6年12月1日現在）
面積：212.47km²
URL：<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/>



北部にそびえて県境をなす金峰山から山梨県の中央部にかけて南北に細長い市域を有する甲府市は、県庁所在地であり、中核市・中枢中核都市※にも指定されています。

市街地は甲府盆地のなかほどに位置し、北にハケ岳、南に富士山、西に南アルプス連峰を望み、秩父多摩甲斐国立公園の奥秩父山塊を源とする御嶽昇仙峡などの景勝地にも恵まれ、「山の都」と称されます。

地場産業の1つがジュエリー生産で、金峰山一帯から水晶が産出したことから加工技法が発達し、市内で全工程が完結するジュエリーの集積産地であるほか、日本で唯一の公立の宝石美術専門学校もあり、「宝石のまち」と呼ばれています。

※中枢中核都市：地方公共団体のうち東京圏以外の地域の経済や住民生活を支える拠点となる市。

明治時代には日本でいち早くワインの生産が始まり、現在市内に5か所のワイナリーがあります。

甲府のまちの礎を築いたのは戦国時代の甲斐武田氏です。永正16(1519)年に武田信虎が躑躅が崎に館を構え、あとを継いだ子の信玄は、周囲に新しく甲斐府中（甲府）のまちを造り、信玄・勝頼と武田氏三代の本拠地として発展を遂げました。

甲府市は令和元年に開府500年を迎え、豊かな歴史と文化をより感じられるまちなかにするべく、甲府城の周辺エリアの再整備を進めています。またリニア中央新幹線の停車駅が甲府駅から7kmほど南に設けられることが決定し、新駅周辺の整備と合わせて市域のさらなる発展が期待されています。



ジュエリー

企画、デザインから原料の調達、研磨、彫刻、金属加工、流通まですべての工程が揃う集積産地。宝石研磨体験や工房見学ができる店舗もある。



ほうとう・甲府鳥もつ煮

ほうとうは、平打ちの太麺を野菜と一緒に煮込んだ鍋料理。甲府鳥もつ煮は鳥のレバー、ハツ、砂肝などを甘辛い醤油だれで照り煮した名物。



中学校の理科の実験で端末のタイマーやグラフの機能を活用。



端末を使い児童生徒が日々の気分や体調を選択式で簡単に報告できる「きもちメーター」を利用している。



GIGA情報端末の有効活用を図り、学習や校務におけるデータも利用

教育 DX

デジタル技術の活用に関する基本的な考え方と方向性を示すため、令和3年に「デジタルソサエティ未来ビジョン」を策定した甲府市は教育分野においても積極的にDXを推進しています。

国のGIGAスクール構想※1を受

け、令和3年に約1万2,700台の端末を市立小中学校に配備、希望する児童生徒をICTリーダーとして育成するプロジェクトに取り組むとともに、令和6年4月にはすべての市立小中学校がSINET※2に接続し、安定した高速ネットワー

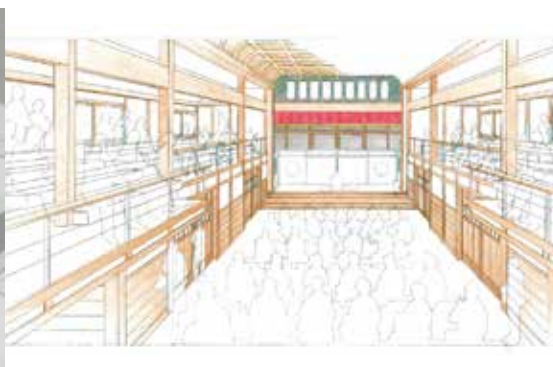
ク環境が整いました。

児童生徒が学習した際のデータを利用して個別最適学習を実現するとともに、生成AIにも着目しており、校務のDXを推進して業務の効率化を図ろうとしています。

- ※1 GIGAスクール構想 児童生徒向けに1人1台のパソコンやタブレットと高速大容量の通信ネットワークを整備。
 ※2 SINET(学術情報ネットワーク) 大学、研究機関等の学術情報基盤として国立情報学研究所(NII)が構築、運用。



城下町の雰囲気を感じられる新名所が令和7年4月にオープンする。



120人が観覧できるこうふ亀屋座の演芸場。升席、棧敷席を設け、江戸時代の芝居小屋を感じられるデザインに。



建設中の小江戸甲府花小路。9棟18テナント。完成後は飲食店や土産物店などが入る予定。



甲府の歴史・文化を感じられる施設

こうふ亀屋座

武田氏が甲府の基盤を築いた後、江戸時代、武田に連なる一族の出で、幕府の要職にあった柳沢吉保が城主となり、さらなる整備を進めたことにより甲府城下のにぎわいは、江戸と異なるところがない、と称されるほどにな

ったとされます。

甲府市はこうした歴史・文化を感じながら周遊し、交流できるまちを次代に継承していくため、令和4年に策定した小江戸甲府城下町整備プランに基づき甲府城南側エリアの整備を進めています。

エリアのランドマークとなるのは、令和7年4月完成予定の演芸場や多目的室を備えた歴史文化交流施設です。愛称は公募の結果、江戸時代の甲府にあった芝居小屋「亀屋座」の名前に由来する、「こうふ亀屋座」に決まりました。



立場を超えて集い、まちの未来像を描く

甲府まちなかエリアプラットフォーム



広場の「居場所化」の社会実験として舞鶴城公園南広場に日除け、ベンチ、テーブルなどを設置した。



オリオン通りでマルシェを開催。甲府のまちの「みんなの好き」を集めた掲示板も設置した。



公園の「目的化」のため中央公園をスケートボードやダンスのプレイエリアに。

市の南部に建設されるリニア中央新幹線駅周辺で将来開発が進むことを見越し、行政と民間が連携して、旧来の中心市街地である甲府駅周辺におけるまちづくりの方向性を示そう、と立ち上げたのが、「甲府まちなかエリアプラットフォーム」です。

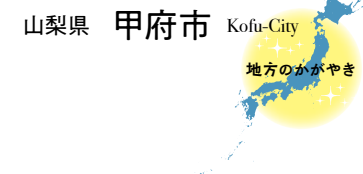
行政だけでビジョンを決めず、まちで事業を運営することになるプレイヤー、その活動を支えるサポーター、まちづくりや景観、交通などの専門的な知見を持つアドバイザーのメンバーで議論し、令

和5年度に「甲府まちなか未来ビジョン2024」をとりまとめ、昨年10月にはプロジェクトのニーズ把握や効果検証を目的として、「みんな『大好きな甲府の日常』をつくろう!」というコンセプトのもと広場や公園などを利用した社会実験を行いました。

今年度、この検証結果を踏まえて最終版のビジョンを策定、令和9年度には民間が事業主体となり、行政の伴走支援のもと、プロジェクトを「自走化」することを目標としています。



魅力的なコンテンツづくりという民間の強みを生かしたチラシ。



甲府市のここがすごい!

自分たちが大好きになれる日常の風景をつくり、これをまちの未来につなげていきます



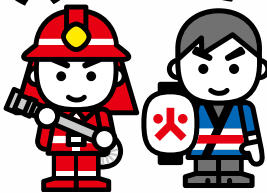
あめみや 雨宮潔さん
甲府まちなかエリアプラットフォーム会長
株式会社岡島 代表取締役社長 執行役員

地方百貨店の経営に携わってきた私は市民でまちなかの未来を考えるという趣旨に賛同し、甲府まちなかエリアプラットフォームの会長をお受けしました。職業も年齢も幅広いメンバーでしたが、まちなかの暮らしを幸せに、という思いで一致したとたん仲間になれ、論議が一気に深まりました。もともと甲府は人と人のつながりの深い土地柄で、昔は仲間で冠婚葬祭などの費用を融通し合う仕組みがあり、これがみんなで集めた資金を旅行や忘年会などにあてる慣習として残っています。新たな仲間と甲府の幸せな日常を実現していくつもりです。



社会実験を検証するプラットフォームのメンバー。プレイヤーは30代、40代が中心(24名)。

私たちの貴重な文化財を火災から守りましょう 1月26日は文化財防火デーです



文化財防火デーとは？

昭和24年1月26日に、法隆寺金堂（奈良県生駒郡）から出火した火災によって、1300年の歴史を持ち、世界的な至宝といわれた金堂の壁十二面に描かれた仏画の大半が焼損しました。

その後も、文化財の焼失が相次ぐ中、このような

被害から文化財を守るとともに、国民一般の文化財愛護に関する意識の高揚を図るため、昭和30年に消防庁と文化庁の共同主唱の下、法隆寺金堂が焼損した日である1月26日を「文化財防火デー」と定めました。それ以降、毎年この日を中心に、文化財建造物などにおける防火運動を全国で展開しています。

文化財防火デーに伴う 主な消防訓練等実施文化財 (過去3年間)

開催年	文化財
令和4年 第68回	瑞龍寺(富山県高岡市) 迎賓館赤坂離宮(東京都港区)
令和5年 第69回	吉備津神社(岡山県岡山市) 聖徳記念絵画館(東京都新宿区)
令和6年 第70回	龍谷山本願寺(京都府京都市) 築地本願寺(東京都中央区)



令和6年1月26日、龍谷山本願寺で行われた消防訓練の様子
写真提供/京都市消防局

文化財を守るために

日本の文化財建造物はその多くが木造であり、美術工芸品についても木や紙または布などの燃えやすい材質で造られているものが多く、火災による焼損の危険があります。

沖縄県那覇市の首里城における火災も踏まえ、文化財や復元建造物などの防火対策が一層推進されています。文化財などを火災から守るためには、火気

管理などの出火防止対策を徹底することはもちろんですが、文化財関係者や関係機関だけではなく、地域住民との連携・協力が必要となります。

文化財防火デーには、文化財関係者や消防関係者が協力して、全国各地で消防訓練が実施されます。この機会に、文化財愛護の意識や、防火・防災意識の高揚に努めましょう。

その他の地域における
訓練などの予定については、
最寄りの消防署にお問い合わせください。

第71回
文化財防火デー
主な消防訓練場所
(予定)

場所: 善光寺(長野県長野市)
護国寺(東京都文京区)
日時: 善光寺 令和7年1月26日(日)
護国寺 令和7年1月24日(金)



文化庁ホームページ
第70回文化財防火デーにおける
各地の主な消防訓練の様子など

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/hogofukyu/boka_day.html



郵政民営化前にお預けいただいた 定額郵便貯金、定期郵便貯金、積立郵便貯金は お早めに払戻しの手続きをお願いします！

郵政民営化前（平成19年9月30日まで）に郵便局にお預けいただいた全ての定額郵便貯金、定期郵便貯金、積立郵便貯金(注)は、満期日を過ぎています。

これらの郵便貯金は、旧郵便貯金法の規定により、満期後20年を経過し、払戻しを促す催告が行われた後2か月が経つと、その貯金に関する預金者の権利が消滅することとなりますので、ご注意ください。

満期を過ぎた郵便貯金証書や通帳がご自宅やご実家にないか、ご家族の皆さまにもお声掛けいただき、ご確認ください。

該当の郵便貯金をお持ちの場合は、お早めにお近くの郵便局の貯金窓口またはゆうちょ銀行の窓口にて払戻しの手続きをお願いします。

また、権利消滅の扱いとなった郵便貯金についても、催告後に払戻しの請求がなかったことに「真にやむを得ない事情」があったと認められた場合には、払戻しを受けられます。当該払戻しの運用については、預金者に一層寄り添う観点から見直しを行い令和6年1月から新しい運用を実施しています。権利消滅の扱いとなった場合でも、払戻しの請求ができますので、お近くの郵便局の貯金窓口またはゆうちょ銀行の窓口にご相談ください。

(注) 郵政民営化前の定額郵便貯金、定期郵便貯金、積立郵便貯金は、日本郵政公社から独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構に承継されています。同機構では、株式会社ゆうちょ銀行に委託の上、当該貯金の管理等を行っています。



郵政民営化前に預け入れられた郵便貯金の
払戻しに係る運用（見直し後）のポイント

払戻し請求に応じる基準

いずれかに真にやむを得ない事情があったと判断されれば払戻しの対象

- ①貯金の存在を認識していなかったこと
- ②催告書の内容又は内容を認識していなかったこと
- ③払戻しの請求をしなかったこと

真にやむを得ない事情の確認は、お申し出の内容に基づき実施

お問い合わせ先

郵便局の貯金窓口

ゆうちょ銀行の窓口



または ゆうちょコールセンター
0120-108-420 (通話料無料)
●平日/9:00～19:00 ●土・日・休日・12月31日/9:00～17:00
(1月1日～1月3日・5月3日～5月5日は、ご利用いただけません)

※最新の受付時間については、ゆうちょ銀行Webサイトのお問い合わせページでご確認ください。
<https://www.jp-bank.japanpost.jp/>
※携帯電話等からも通話料無料でご利用いただけます。※IP電話等一部ご利用いただけない場合があります。
※ご利用の際は、発信者番号を通知してください。
(電話機が非通知設定の方は、上記の電話番号に186を付けてお掛けください)

郵政管理・支援機構 独立行政法人 郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構

詳しくは 郵便貯金 機構

<http://www.yuchokampo.go.jp/topics/attent.html>



令和7年1月14日(火)リニューアル開講 「誰でも使える統計オープンデータ」 受講者募集中

社会人・大学生を対象とした、統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を学べる無料のオンライン講座です。



総務省は、統計リテラシー向上のための取組として、「データサイエンス・オンライン講座」を開講しています。その講座の一つである「誰でも使える統計オープンデータ」を令和7年1月14日(火)に開講します。今回、全面リニューアルを行いました。

e-Stat（政府統計の総合窓口）やjSTAT MAP（地図で見る統計）を使ったデータ分析のほか、ふだんメディアなどで耳にするGDP統計（国民経済計算）を始めとした景気判断に用いられる統計を詳しく見ていくとともに、人口・雇用・賃金等に関する統計の見方も学ぶことができます。

どなたでも受講登録が可能（登録料及び受講料無料）です。新しく生まれ変わった本講座をぜひご受講ください。

「誰でも使える統計オープンデータ」の概要

- 開講期間 令和7年1月14日(火)～3月11日(火) 予定
- 学習時間 1回10分程度×5～7回程度(1週間)×4週
- 課題 各週の確認テストと最終課題の実施
- 講師 西内啓氏(株式会社データビークル共同創業者)ほか
- 講座内容

Week 1: e-Statを使ったデータ分析

e-Statの統計データを活用したデータ分析の事例、基本的な活用方法を学ぶ

Week 2: 公的統計データの活用①

国の経済の規模をはかるGDP統計と関連する統計の見方を学ぶ

Week 3: 公的統計データの活用②

人口統計・労働関連統計を中心に景気判断に用いられる統計の見方を学ぶ

Week 4: 地図で見る統計(jSTAT MAP)の活用

統計データと地図を組み合わせた活用方法等を学ぶ

受講の流れ

受講登録

下記URLまたはQRコードから無料で受講登録

講義動画視聴 ディスカッション

講師による説明動画で統計オープンデータの活用方法を分かりやすく解説

確認テスト 最終課題

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確認

修了証の取得

確認テスト及び最終課題の得点率により修了証を取得

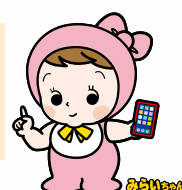
✓ 受講料 **無料**

✓ スキマ時間でできる!
1回あたり 約**10分**

✓ スマホ・タブレット
受講OK



受講登録はこちらから
データサイエンス・オンライン講座
「誰でも使える統計オープンデータ」
<https://gacco.org/stat-japan3/>



第二次石破内閣・総務省の新体制



総務大臣
村上 誠一郎

愛媛県出身
昭和27年5月11日生まれ
昭和61年7月 衆議院議員初当選
当選13回
平成4年12月 大蔵政務次官
(宮沢改造内閣)
平成12年12月 大蔵総括政務次官
(第二次森改造内閣)
平成13年1月 財務副大臣
(第二次森改造内閣
(省庁再編後))
平成13年5月 財務副大臣
(第一次小泉内閣)
平成16年9月 国務大臣
(行政改革担当、
構造改革特区・
地域再生担当)
内閣府特命担当大臣
(規制改革・
産業再生機構担当)
(第二次小泉改造内閣)
平成17年9月 国務大臣
(行政改革担当、
構造改革特区・
地域再生担当)
内閣府特命担当大臣
(規制改革・
産業再生機構担当)
(第三次小泉内閣)
令和6年10月 総務大臣(石破内閣)

第二次石破内閣の発足に伴い、村上総務大臣、富樫総務副大臣、阿達総務副大臣、古川総務大臣政務官、川崎総務大臣政務官、長谷川総務大臣政務官が就任しました。

総務副大臣



富樫 博之

秋田県出身
昭和30年4月27日生まれ
平成24年12月 衆議院議員
初当選
当選5回



阿達 雅志

京都府出身
昭和34年9月27日生まれ
平成26年12月 参議院議員
初当選
当選3回

総務大臣政務官



古川 直季

神奈川県出身
昭和43年8月31日生まれ
令和3年10月 衆議院議員
初当選
当選2回



川崎 ひでと

三重県出身
昭和56年11月4日生まれ
令和3年10月 衆議院議員
初当選
当選2回



長谷川 英晴

千葉県出身
昭和34年5月7日生まれ
令和4年7月 参議院議員
初当選
当選1回



鹿児島県指宿市

ぴったりサービスの活用でコスト削減!

地域DXのヒント第10回は、自治体におけるフロントヤード改革の取り組みについて指宿市の事例を紹介します。

指宿市では、令和5年3月から「指宿市DX推進ビジョン」に基づき、オンライン申請や窓口デジタル化に取り組んでいます。当初は、全国的に行われている『行かなくていい市役所』や『書かない窓口』といった優良事例を参考に推進しようとしたのですが、導入やランニングにかかる費用とフォーム作成にかかる業務量増加が高いハードルとなっていました。

そこで、デジタル庁が提供しているぴったりサービスに着目。オンライン申請の環境は、ぴったりサービスを活用することでコスト面を抑制でき、かつ、同システムを窓口タブレットシステムに応用することで、職員のフォーム作成

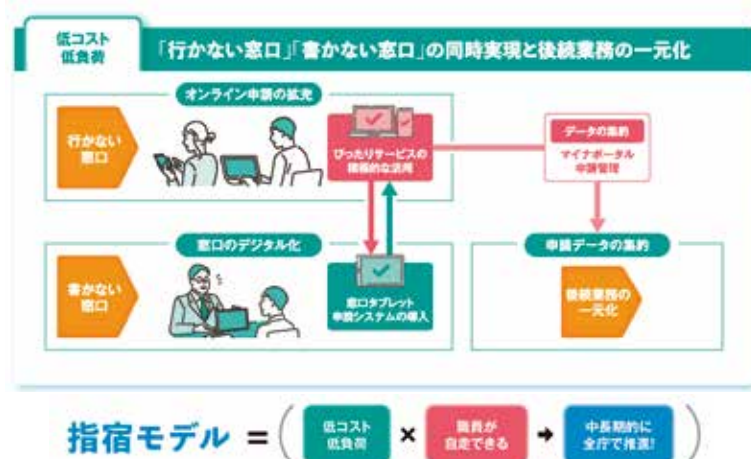
に係る負担も軽減できるのではないかと考えていました。

実際、システムの導入費を含む初年度経費が200～300万円程度に抑えることができ、令和6年8月から一部窓口でサービスを開始し、住民の方からの申請を受け付けています。

今後は、電子データで受け付け

た内容を効率的に業務フローへつなげていく取り組みを推進していく予定です。

今回のフロントヤード改革モデルプロジェクトにより、財源や人的リソースが不足している中小規模自治体でも取り組みやすい『指宿モデル』の構築を実現したいと思います。



指宿市のDXの取り組みをご紹介します。

YouTube「デジサポ指宿」

<https://youtube.com/channel/UC6hFU4F5eWThcQYseCyowRA>



編集後記

editorial note

新年明けましておめでとうございます。1月号をお読みいただき、ありがとうございます。今年も広報誌「総務省」をどうぞよろしくお願い申し上げます。

今回地方のかがやきで紹介した山梨県甲府市は、「宝石のまち」と言われています。甲府市の北にある金峰山では水晶が産出し、そ

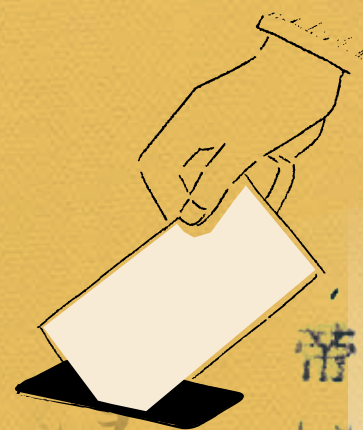
の研磨・加工技術が現代に伝えられています。甲府のジュエリーはふるさと納税の返礼品としても人気だそうです。

甲府市では中心市街地を「歩きたくなるまちなか」にする取組をしています。駅前を小江戸甲府を彷彿とさせるエリアにする計画や、公園や広場の居場所化も進めて、

地元の方に居心地がよいように整備しています。取材に訪れた際も、公園でのんびりしている方々を見かけ、取組の成果が現れてきているのかなと思いました。

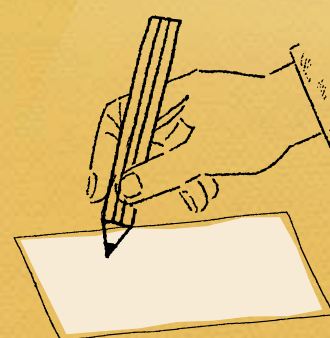
末尾になりましたが、今回ご協力いただきました皆さまに心から感謝申し上げます。

(広報室 C.H)



「普選」と「婦選」 ―選挙権の拡大とその歴史―

令和6年度第3回企画展



帝國臣民タル男子ニシテ年齢二十五年以上ノ

入場無料

予約不要

期間中無休

令和7年1月18日(土) ▶ 2月24日(月) 休

開催時間：午前9時15分～午後5時

会場：国立公文書館東京本館1階展示ホール

記録を守る、未来に活かす。



〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 3-2
TEL : 03-3214-0621

Facebook X(Twitter) YouTube Instagram



<https://www.archives.go.jp/>



さあ、一緒に！ 国勢調査員 大募集

令和7年10月1日に

国勢調査を実施します

日本に住んでいるすべての人と世帯を対象とした、最も重要な統計調査です！

5年に一度、全員参加の統計調査

国勢調査 2025



地域の未来の
ために！



暮らしを
より良く変える力に！



地域の人と
話す機会に！



自分のペースで
働ける！



詳しくは、お住まいの市区町村の
統計調査担当窓口までお問い合わせください。

国勢調査2025キャンペーンサイト

<https://www.kokusei2025.go.jp/>

国勢調査2025

検索



総務省統計局・都道府県・市区町村